

第2期広島市立大学塾活動報告【10月24日】

国際学部国際学科1年

丸井 皐

第3回目となった今回の市大塾は、「自分の思うリーダー」について議論した。急遽、当初のテーマを変更しての開催となったのだが、1人1人が現時点で思う自分のNo.1リーダーとその人の評価について、しっかりと意見が述べられていたと思う。歴史上の人物から著名人、身の回りの人まで、ジャンルを問わず、塾生7名から語られた「リーダー」たちはそれぞれ特徴を持っていた。挑戦すること、努力すること、情熱も持つことや他人への配慮ができることなどといった特徴は、これまで自分が意識していなかったリーダー像に新たな価値観を植え付けるものでもあった。

議論の締めくくりに、青木学長から「孤独に耐える力」についてのお話があった。実のところ、私が市大塾に入る前の面接で、学長からお聞きしたことでもあった。あれ以来、「孤独」という言葉が頭を離れずにいた。それは私が本来「孤独」を恐れているからだろう。誰かに同調して生きていくほうが、楽に決まっている。しかしそんな自分とは決別しようとの時強く決心した。

「リーダーには孤独に耐える力が必要だ。そして君たちには誰かの憧れの存在になってほしい」そう語ってくださった青木学長の言葉を我々塾生は真摯に受け止め、胸に刻んだ。塾生として、自分にできることは何か。この1年間は自分の成長のために、そして他人の成長のために邁進していこうと考える。